

神戸で開きたい定期演奏会

朝比奈 隆

〈指揮者〉

辻 久子

〈ヴァイオリニスト〉

■ゲタばきの

クリスマス・コンサート

編集部 今年もクリスマスが近づき、あちこちで第九やクリスマス・コンサートなどが催されていますが、クリスマス音楽の思い出のようなものは何か？

朝比奈 そうですな、クリスマス・コンサートといったら、結局ポピュラーコンサートということになりますね。オーケストラをやつて、辻さんがバイオリンひいて、あとはコーラスがでるとかね。そういう風にバラエティにとんだものになりますね。それとクリスマスですから、何となくアベックとかが多いんですね。夜遅くなる口実みたいなもんですからね（笑）。

辻 そう、前はよく大阪の松竹座でやりましたよね。あれはよかったですね。

朝比奈 庶民的でね、ゲタばきではいつてきたのもあつてね（笑）。非常に雰囲気がいんですよ。ガラが悪いといえは悪いですけど、非常に庶民的でね。タクシの運転手も、車をちよつと横丁につこんで、二、三十分ぐらい入って聴いたりね、そしてまた働きにくい。そういう人たちが仕事の忙しい合間にも聴けるというのは、大変いいことですよ。それがちよつと車を止めて、フェスティバル・ホールにというわけにはいかん

ですな。松竹座だから、それができるんですよ。そういう人がたくさんいるんじゃないかな。大変気分がいいもんですよ。今でもやるとすればそういう感じで、今は上六の近鉄の映画館で、毎年やっていますよ。やつぱりそんなもんで、ザワザワした雰囲気ですね。そんなもんザワザワしとていいんですよ。最後に讃美歌をうたつたり、ローソクついたりしてやっていますけど、そういう感じです。

辻 そういのが最近、神戸では全然ありませんね。以前は、私なんかも、京都、大阪、神戸と、三日間やつてましたけど。

朝比奈 そういう風なプロモーションが全然ありませんね。

辻 クリスマスいうたら、一べん昭和二十五年頃ですかね、クリスマス・コンサートをやることになつていて、九州に演奏旅行に行き病氣になつて帰ってきたんですよ。それでもクリスマス・コンサートには出演せんなんし、困っていたら、ちやう度その時、平岡養一さんが大阪にきていらして、その方に代つてもらったんです。その時もステージにでないからというて、そのままというわけにいきませんから、ステージにでて、ほんと顔だけ出したんです。

朝比奈 そうやったかな。

辻 もうフラフラでした。満員の



「クリスマスはアベックがぐんと演奏会に増えますナ」と朝比奈隆氏

お客さんでしたけど。

朝比奈 顔だけ出す。それだけでもええ、ねん(笑)。

■ぼくは身体が動く限りは舞台を休みませんよ

朝比奈 私たちはね、自分の体が悪いとか、熱があるとか、親が死んだとか、子供が病氣だとかいって舞台を休めないですよ。

また休むべきものじゃないと思いますね。今のように体が動かないやしょうがないですよ。動く限

りは休むわけにいかんですよ。辻 そうですね。お客さんのために舞台にでてるのですからね。

朝比奈 ぼくもね、ちょう度、十二月二十四日だったかな、クリスマスの時でね、戦争中ですけどね。シャンハイのオーケストラを指揮しに行ったら、一番上の兄が肺炎で死んだので、電話がかかってきたんですよ。

ぼくは演奏会があるでしょ。軍では飛行機の便があるから帰ってもいいというけど、生きてるのならまだしも、死んでしまったんじ

や帰っても仕方がないからとって、葬式にもでませんでしたよ。そしたら、おまえは冷たいといわれましてけど、みんなそうなんですよ。そういうことを我慢してやってるんですよ。

お客さんにいったって、しょうがないから、そういうことは、まありませんね。でも、やっぱり、ぼくらの商売は、体が動く限り休まないのが本当じゃないですかね。若い連中をみると、やれ何とか誰それが病氣だとか、結婚式があるとか、平気な当り前のよう

な顔をしているんですね。休んだらいけないと怒られてでてくるような性質のものではないし、そんな人にはできてもらいたくないですよ。だから休め休めといっていますけど、私なら休まないぞと、私は過去四十年間、舞台で生活してきて、一回も休んだことがない。今後もおそらくないつもりです。そういうもんですな。責任の問題もありますけれど、自分の気がすみませんよ。

■住まいとしての神戸と

演奏活動の場としての神戸

編集部 辻さんも、神戸との関

は深いですね。西宮に引越さるまでは神戸でしたね。

辻 ええ、住吉におりました。その前にも御影にいましたし、神戸は十六才位の時からいます。

朝比奈 西宮にかわって、どう？

辻 やっぱし、神戸の方がよろしいですね。気候が私に合わない。近いようですけどちがいますね。

芦屋からこっちがいいですね。何か空気がおいしいような感じで、

将来また、御影の辺りにかわりたいなと思ってます。先生の方は？
朝比奈 ぼくはもうずい分神戸は長いですよ。二十六、七年になります、今の家で。もう死ぬまでいますよ（笑）。こんな家に死ぬまでおるんかと子供はいますけど（笑）。その前は香炉園にいましたし、だいたい西宮からこっちですね。合わせて三十年以上。それはそうと、これから年末にかけてのスケジュールで、神戸での演奏会はあるの？



「教育ママの無理なピアノのお稽古は子供を音楽ざらいにしますよ」と辻久子さん

辻 神戸はありませんねエ(笑)。

朝比奈 一年間に神戸でやる回数
はどれ位、今年なんか?

辻 今年は、国際会館で一回あつ
たかな(笑)。

朝比奈 辻さんなんか、日本で一
番公演回数が多いバイオリニスト
でしょ。それが、住んでいる神戸
で一回あつたかないアという話で
は何とも妙な話ですなア(笑)。

ぼくの方も、年末には、よくペー
トーベンの第九をやるでしょ。そ
れだけをとってみても、京都でも
やるし、大阪では五回も六回もや
りますし、それから金沢、富山に
行って西宮でもやるんです。ここ
ろが神戸だけないんです(笑)。

すぐ近くまで来ていてね、申しわ
けないといえは申しわけないけど
何とも妙な具合でね。これは我々
の責任だけじゃないですよ。

■戦前は神戸に音楽会を

ききに來たものですよ、

朝比奈 いくら何でも辻久子がバ
イオリンをさげて、いきなりやつ
てきて、弾かしてエナアという具
合にはいかんし、我々にしたって
オーケストラが勝手にきて、プー
スカ、プースカ演奏するわけにも
いかないですからね(大笑)。

辻 やっぱり誰かが、お膳立てを
して、いつ、どこそこで、こうい
うものをやってくれといわれれば
やりますけどね。大阪に行きやす

いということもあるのでしょうけ
ど、最近、神戸での演奏会は、少
なくなりましたね。

朝比奈 昔は、神戸はそんなこと
はなかったんですよ。ぼくが京大
の学生だった時は音楽会といえ
ば、神戸に聴きにきたもんですが
な。大阪は全然だめだったし、京
都かむしろ神戸でしたよ。

辻 戦前ですか?

朝比奈 そう。学生の頃は、汽車
に乗って神戸にききにきたもので
すよ。

辻 海員会館いうところ?

朝比奈 関学のチャペルが上筒井
にあったでしょ、今の王子動物園
のところですよ。まだ海員会館なん
かのできる前で、小さいチャペル
だけど、音楽会といえは、そこで
した。外国の演奏家も、昭和の初
期までは、神戸に來たもんで、音
楽家もたくさん住んでましたよ。

ぼくら勉強したのは、神戸です
からね。我々の先生は、みな神戸
におられた。

辻 そういえば、バイオリンを習
ったのは私も神戸ですね。子供の
時分からよく來ましたね。

■主体性をもった企画を、

朝比奈 最近、地元の仕事があ
らないですね。以前はつとめてやろ
うと思つて、夏は野外演奏会とか、
普段は松竹座とか聚楽館とかを使
つてやるようにしていったんですけ

ど、最近、国際会館もできたこ
とだしと思つていたのですが……
我々がやっきになつてやつてもね

それを神戸側でやるうという意欲
が大変少ないですね。例えば、神
戸でプロモーションをやっている
といえは、労音と国際会館の事務
当局の二つしかないわけですよ。

うちも労音なんかやってますけど
そこにつかつた仕事以外は、神
戸の方に全然主体性がないから、
よその人がきて、自分らで段取り
も全部せんなんというみたいで
ね。演劇にしてもそうでしょ?

労演はやつてゐるらしいけど、やつ
ぱり、地元の方でやつてもらわな
いと盛んにならんですよ。

辻 そうですね。何だか国際会館
ができて、かえつて機会が少なく
なつたみたいですね(笑)。

朝比奈 そういえば、そうですね。

国際会館ができたので、松竹さん
もあまりやらないし、神戸新聞の
企画部もあまり意欲あるものをや
らない。結局、国際会館の事業部
や労演が労音かにそのコースが限
られちゃつて……ちゃんと筋のと
おつたりサイタルとかオーケスト
ラの演奏会とか、オペラ、バレエ、
演劇公演とかが、非常に少なくな
つちゃつたですね。聴く層も多い
し、質もよいはずですけど、結局
プロモートする人がいないからそ
ういうことになるんでしょうね。



呉那保藏
みよーや

神戸店大丸
電話神戸③三三八八〇九番
大阪店阪神百貨店三階
電話大阪(361)五五四八番
姫路店やまとやしき百貨店三階
電話姫路②一二二一番

幸せな二人の
えにしを結ぶ結納儀式用品



祝い樽

合資会社＊創業35周年

遠藤福寿堂

東店・神戸市生田区トアロード高架上 TEL (39) 1871(代表)
西店・神戸市長田区市電停菅原東入 TEL (55) 2251(代表)
神戸大丸百貨店地階 TEL (33) 8121
神戸十合百貨店地階 TEL (22) 4181
姫路店やまとやしき百貨店三階 TEL 姫路 (23) 1221
姫路山陽百貨店地階 TEL 姫路 (23) 1231



Shanpy

若さと
スタミナを
プラス

ローヤル・サンド
シャンピー



鴈治郎飴本舗

本社
神戸湊川神社電停前
電話 ③4 1242

営業所工場
生田区仲町通4丁目
電話 ③4 2663

生ビールはアサヒ
酒は菊正宗

バーベキュー じんぎすかん てっちり



ビヤホール・レストラン

21-1-13-

元町店
大丸山側
(33)1422

さんちか店
さんちかタウン
(39)5069

■タダというのはよくない

—大阪の府民劇場

朝比奈 誰かがやらないといけないのですから、まあ、お役所に頼るのは、あまり感心しないけど、県とか市の教育委員会とか文化部とかが、ある程度やっていく必要があるですよ。大阪にも府民劇場と称して、年に何回か、一回、五〇万から一〇〇万位の経費でやっています。これは府が出演料などすべての費用を払って開催しているわけで、それがいいか悪いかは別として、そういうこともできるわけですよ。ただ大阪府の場合、入場料が無料なのですが、ここに問題がありまして、タダでやるのは非常にいいことなんだけど、あまり感心しないですよ。

辻 そうですね。いつもタダの方がかえってお客さんがこないわね
朝比奈 たとえ一〇〇円でもいいからお金をとらないと、客層が悪くなるんですね。それから招待券やキップをたくさん出してもタダのキップはどこへいくか分らない全市民から往復ハガキで申込みをとるとかいうのならいいけど、多くの場合、無料というのは、役職関係のルートで流れますからね、人があまりこなくてしかも客層が悪いです。町内のおばさんみたいなのかこない。ものにもよりますけど、シンフォニーやオペラや

っていて、そんなルートで流れたキップじゃ、きた方も何やおもろくないなてなもんですわ(笑)。それはそれとしても、大阪府でやっていること自体は、いいことです。そういうことを兵庫県でも神戸市でもやろうと思えばできるわけですよ。

■責任と権限のある委員会を、

—兵庫県の芸術祭また神戸市の市民劇場

朝比奈 今やっている芸術祭というのは、県と市と合同ですか？
編集部 いえ、別々です。

朝比奈 別にやっていますが、やはり方は全く同じですよ。あれでは力が弱いんですよ。大阪府の場合は、文化祭の係員が、誰に頼み、いつやるかというに対して決定権をもっているわけですよ。兵庫県と神戸市の場合は一回、国際会館の方にでて、そこで決ったプランに従ってやっている。ということでは官庁側もあまり責任がないし、一般市民の方でも何が始まって、何が終わったか興味がない。

辻 私なども、ただ出来上がったご案内状をいただいて、はじめてああこんなんがあるのかと分るわけですよ。

朝比奈 やはり教育長なり、しかるべき立場の人が、これこれですと責任をもってなくちゃいね。金

の出しっ放しというのはよくないですよ。私なんか質問すると、それは委員会の方で検討してまうといいますが、実質的に、委員会は決定権も執行権もたないからだめですね。もし委員会制度でやるのなら、委員会そのものに決定権をもたせて、関係者はいい手をひくべきですね。

辻 そうですね、今のような状態の芸術祭でしたら、誰も関心をもたないんじゃないですかね。県民の私でも、一度も参加したことありませんし、企画についてご相談うけたこともありませんね。

朝比奈 音楽だけじゃなくて、演劇や舞踊でもそうだと思うね。したら、どんな連中がやっているのかということになる。民主的に委員会をつくって検討しているという答弁が内容のないものになる。ぼくは国際会館の方で、自分の考えをもって催物をやるのは結構だと思えますよ。ただ県や市がそこに金を出して任せっぱなしというのはちょっと具合が悪いんじゃないですかね。ぼくらの知っている兵庫県下に住む音楽家の人で兵庫県の芸術祭について相談うけた人は、一人もいませんよ。もっと権限のある委員会をつくらないと、事務当局が自由に、委員諸候はただ承っているだけなんじゃないかと思えます。事務当局は

ただ決まったことを執行したり、印刷したりすればいいのであつて考へたりする必要はないわけですよ。そこら辺にまちがいがあるんじゃないかな。

辻 それにいろんな人を選んで、ある程度の責任と権限を与えるとしてそれおもしろい意見や考へがでてくるものですよ。

■まず地元のアーティストを

舞台にのせるのが第一義

朝比奈 それから兵庫県なり神戸市なりが予算をだして音楽会なり芝居なりをやり出したら、まず第一にその市民であり、県民であるそこに住んでいるアーティストを舞台にのせることだと思ひますね。地方の県で、県下にそんなに俳優さんも音楽家も住んでいないというのなら、東京や大阪から来てもらうのも分りますよ。兵庫県みたいに上手か下手かは知らんけど、俳優さんもあるし、劇団もある。バレエ団もあれば、音楽家もいるのに、それは無視して、東京の方から特別のルートで呼んでやるようでは、ますます一般の人の関心はうすくなりますよね。どの街でも、ミュンヘンの音楽祭でもウィーンのミュージック・フェスティバルでも、そこに住んでる音楽家がまず第一ですよ。バラエティをつけるためにベルリンやフランスからきてもらうわけです。

辻 どこでもそれが本来のあり方ですね。

朝比奈 要するに田舎もの根性じゃないのかな。何でもよそのものがよく見える、これは東京で買ったネクタイやねん(笑)というふうなのではだめですな。そういう面で基本的な姿勢がたたきだれないと神戸の方の積極性はでてこないんじゃないかな。

辻 そうですね。来年の企画は？

朝比奈 来年はまだきいてませんが、神戸側からの申し出を待っていたら何もいってこないの、いっぺん知事とでも話し合つて、継続的に企画でもたてようかと考へているところです。兵庫県社会文化協会もできましたしね。何かしないといけませんよ、今の情況ではおつておくと、どこからも話はないですよ。労音でたまにきますけど、これは市民の方とは直接関係ないですよ。労音は労音で結構ですけど、一般によびかけることが一番大切ですよ。

辻 できれば県が主催で、連統的にやれるといいですね。

朝比奈 兵庫県と提携して、うちのオーケストラの定期演奏会的なもの、いわゆる営利の採算に關係のない企画というのは、そういう形でできないですからそうでないとミセクラシックみたいなものばかりできませんから

ね。やはり兵庫県と提携するのが一番いいんじゃないかと思ひますけどね。

■クラシックはやっぱりドイツ

おとなしい日本の聴衆

編集部 各国をまわつていて、やはり各国のファン氣質というか、国によつて多少のちがいはありますか？

辻 そうやね、ファン氣質いうても、あんまりちがいませんけどね。日本とはちがいますね。

朝比奈 そう、西洋人同志の中では、あんまり変らんですね。ぼくらが相手するのはクラシックのお客さんだけですから、ほかのは知りませんが、シンフォニーとかバイオリンコンチェルトとかをきいている限りにおいては、そうちがいませんね、イギリスがちよつとちがうかな。

辻 そうでもないと思ひますけどね。でも、やっぱりクラシックの演奏会やったら、ドイツが一番いいですね。本当に自分たちのものをやつていっている感じがですね。

朝比奈 それも年寄りの多い聴衆はどうですか。満員になると、指揮者のすぐ横のところまでズーッと並ぶわけですよ。それがおじいさんとおばあさんばかりで、みんなスコアをもつて見ている(笑)並んで座つて老眼鏡をかけてみえますけど、そういう聴衆はどい

です、敏感ですね。イタリアはあんまりよくない。オペラだったらギヤーギヤーさわぎますけど、クラシックだったら、何やボカンとした顔してますわ(笑)。日本はおとなしいね。固くなってるんだな(笑)。それと本当に喜んでいるのかなあ、もちろん喜んでいる人もいますよ。その表現の仕方の問題もあるし……。

辻 でも、だいぶよくなってきましたよ。最近、割合、派手に積極的に自分の気持を表わすようになったみたいです。拍手だけでなく、雰囲気です。拍手だけでなく、雰囲気です。

■子供を音楽ぎらいにする

教育ママのピアノのおけいこ

編集部 最近、教育ママとかいって、子供にピアノとか教えてますでしょ。すると、音楽の好きな人の層はふえるんじゃないですか？朝比奈 きらいになるんじゃないですか(笑)。

辻 あれは不思議ですね。教育ママとか、そういう人たちが果して演奏会やなにかにくるかというところじゃないんです。

朝比奈 こないですね。例えばピアノをおけいこしているでしょ、すると自分のお師匠さんの演奏会でないといかないです。

オーケストラとかオペラとか音楽一般になんか絶対いかなんですよ。一番笑うべきことはね、演奏

会でも、ピアノで連れてきた子はピアノがすんだら、みんな連れて帰っちゃう。だから帰るお客さんを見たら、あいつはピアノをやっているとか、バイオリンをやっているとか、すぐ分りますよ(笑)。ぼくはむしろ、ピアノは自分がやって分ってるんだから、シンフォニーを子供にきかせるべきだと思ってるがね。あれは音楽をおけいこしているんじゃないピアノをおけいこしてるんですよ。だから子供は音楽なんか好きになりやしませんよ(笑)。

辻 だんだん音楽が分らなくなる(笑)。

■猫も杓子も「辻久子」に という具合には

朝比奈 要するにね、みんな「辻久子」になろうと思ってるんですよ。そうはいかんし、またいけるかもしれないけど、並たいていことではないわけです。辻さんだって、幼年時代、少女時代と全部犠牲にしてね、これで一応成功したからいいですよ。やったからなれるとは限らないですからね。犠牲にしてやったけど、とうとうどうにもならなかった人が、たくさん辻久子の背後にいるわけだ。

猫も杓子も辻久子にしようと思ってるから大まちがいで、辻久子は一人いたらよろしいねん(笑)。日本人の悪いクセなんだが、女の

子にバイオリン弾かせたら、辻久子になり、野球したら長島になると思ってる(笑)。辻さんにしだって、スラスラとなったわけじゃないんだし、普通の家庭ではとんでもない話ですよ。私の子だったらよろしませんわ。辻さんのお父さんとも、ようけんかしましたよ(笑)。かわいそうやからやめとけ、いったら、ほっといてくれ、いうてましたけど、父娘苦労してね、それも運がよくてうまくいったから、ここまで来たんであって、途中で指一本でも怪我したら、それでおしまいですよ(笑)。だからバイオリンを弾いたら辻久子になる、そうはいかんですよ。そういう教育の仕方やから子供の方が音楽を好きにならんですよ。できもしないことを無理やりやらされて、怒られて、ひっぱたかれて……(笑)。子供はオドオドしてますよ、かわいそうに(笑)。

■いい指導者という環境と

辻 私なんか教えて思うんやけど、音楽はできるんだけど、雰囲気いなか、音楽の真髄をつかんでる人は少ないね。やること自体わるいことではないと思いますが。

朝比奈 いや、一概にはいえません。いろんなことをして子供をスポイルする場合もかなりあるでしょう。受験勉強してスポイルするのと同じですよ。だから、バイオ

リンをけいこすることはよいことですけどその結果が必らずプラスにでるとは限らない。いい家庭環境とい指導者と健康と才能とがうまくあえばいいですけど、それが才能もないし、環境もよくない、いい指導者もつかないで尻だけたたかれたんじゃ目もあてられない(笑)。

辻 ほんと、ろくな教師がいなくてすね。

朝比奈 もし一人の子供をプロフェッショナルな音楽家として教育するんなら、教師は犠牲になって子供の成長をフォローしていかないかん、これは大変なことですよ。それができる教師は、そうたくさんはいませんよ。

辻 ですから、できれば環境をよくして、音楽会もよく行き、それも自分の習ってるものだけじゃなく、何もかもきいて、音楽とは、こういう楽しいもんやということを教えてほしいですね。

■どこに住んでいてもできる人はできる

辻 日本の若い演奏家も、どんどん海外にでてますでしょ。あちらに永住して、日本に演奏にきたりしてますけど、あれはいい、最高にいいなと思いますね。でも私なんかの場合は、やはり日本で音楽というもの、音楽会というものを育てていけないいけないでし

よ。みんなが日本を出てしまったんじゃ、それではいけない、やはり日本にいたるべきだと思うんですよ。私なんか海外演奏に行くのは、一年か一年半に一回ですけどその点、朝比奈先生は、毎年毎年定期的にいらっしやるでしょ、大変立派だと思えますね。

朝比奈 たしかに、日本で、ほんとうに演奏家としてだけ生活するのは、非常に苦しいですよ。それだから、みんな外国にいくんだろうと思いますけど。

辻 それと、やっぱりあちらの方が住みよいというか、音楽会をやる、勉強する雰囲気がありますね。それに何かしらないけど、自分自身、自由な感じがしますね。こっちにいますと、自分の国だから知らないけど、無駄な義理人情みたいなものがあるでしょ、何か妥協しなきゃいけないみたいな、わけの分らない圧迫を感じますね。

朝比奈 それから、何か、日本という国は外国に行っていた方がいいみたいな気がしてね、矛盾してるよな。外国に行って有名になつたとか、すばらしかったとかいうと、日本でも取り上げる。日本で誇って、これはいいというんじやなくてね。

辻 そういうのが、若い演奏家に悪影響を及ぼしますね。何も外国にばかり行って勉強しなければな

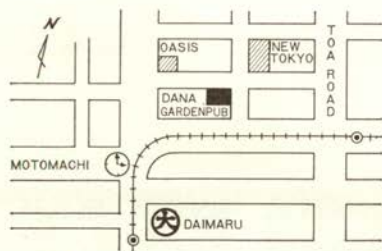
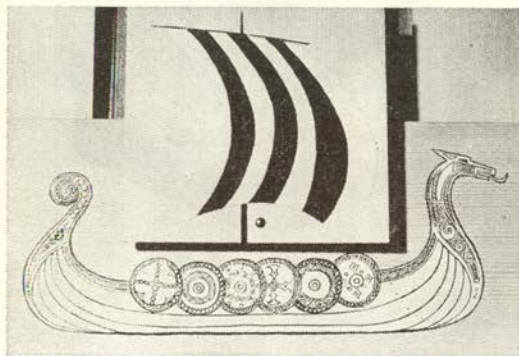
らないこともないのに、ある程度までいくと、この辺で留学するか、そういうのが多いでしょ。

朝比奈 それも、あそこへ行っても誰それに習いたいと意欲をもっていくのならいいですけど、どこでもいいから外国に行ってくるというのがいますよね。それは無理に止めたりはせんけど、何にもならへん場合もありますよ。

辻 それなら何も、留学しなくて日本で勉強したっていいわけですね朝比奈 それかといって、日本にばかりいて、いいかというところいうわけでもない。まあ、両方、一長一短はありますわな。日本で勉強して、ちゃんと自分のもののできてから外国に行けば吸収する力があるし何も三年も四年も行かなくてもたとえ二カ月位でも吸収して帰ってこれるわけですから。辻 この頃はすでにもう外国に行つて帰ってきたというのは珍しくなくなってますでしょ。結局はその人、次第ですよ。

朝比奈 絵でも何でもそうですけど、本当にできる人は、日本に住んでいても、外国に住んでいても神戸に住んでいても、どこに住んでいても同じだということですね。好きなところに住んでいたらいいですよ。

Restaurant Dana Garden



Tel • Kobe (32) 1810

大丸前・日東館北側地下

神戸肉の鉄板グリル

忘年会、新年会、クラス会

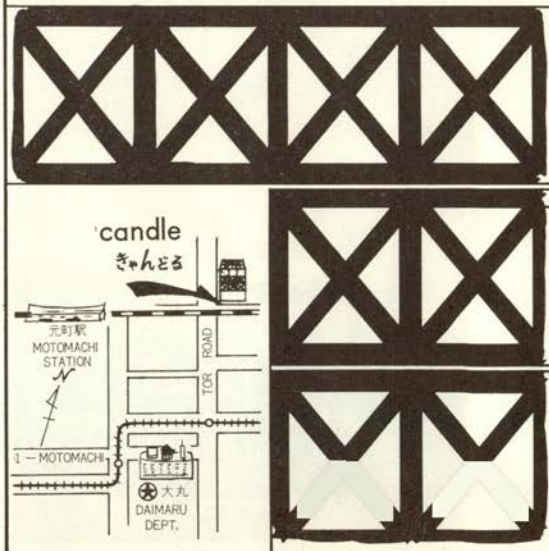
5人様～50人様

バター焼 定食 ￥650ヨリ
鉄板焼

サービス期間中生ビール中ジョッキ一杯付

きゃんどる

GRILL TEL (33) 1183



Nakaniwa



宝石
貴金属
時計

仲庭

さんちかタウン (39) 4 5 9 3
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
桜 橋 毎日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

のれんが育てた
神戸の味

瓦せんべい
クリームパクション

ご贈答に神戸の銘菓を

龜の井 龜井堂本家

三宮トーアロード

TEL 本店 33-0001
南店 33-1616

さんちかスイーツタウン TEL 33-6532

神戸遊戯誌 51

★王子弓道場で戦前以上の盛況

敗戦によって大日本武徳会が解散されると、新たに全日本弓道連盟が設立され、新しい理念と構想にもとづいて、弓道会は再組織されたが、その性格、機構、運営方

針などにさらに厳密な検討が加えられ、真に民主的なスポーツ団体となるために、ふたたびこれを解散し、昭和二十四年五月二十二日、現在の日本弓道連盟が設立された。ついで体協への加盟が同年六月三十日に承認されると、地方各弓道団体の復活と団体相互の連絡がはかられ、



袴姿のリリしい女性弓士(いずれも神戸王子弓道場で)



(上)はマキワラ練習に励む女性たち
(下)は的にむかひの練習には思わず力が入る



弓道〈2〉青木重雄

しだいに弓道界は立ち直りをみせはじめたが、二十四年の第四回国民体育大会（東京）には正式種目として参加（福岡の第三回国民体育大会には全日本弓道連盟の時代で公開競技として参加していた）するとともに全国的な普及ぶりを示し、参加者は男子三十府県が参加した。同時に戦後初参加の女子競技においても十六府県の参加があった。さらに翌年の第五回大会（愛知）には、男女成年の府県対抗を一種目として加えたところ、男子は三十九、女子は二十九の府県が参加し、こうして兵庫県はじめ全府県に弓道団体が続々と復活した。

また、弓道は剣道や射撃、ナギナタなどと同様、戦後一時学校体育の教材から除外されていたが、文部省では戦後六ヶ年間たったのと、その間の実情の判断から、二十六年七月二十五日付をもってふたたび学校教育の一教材として、男女中学校以上に実施してもよいという方針を決めたため、年々学校方面に弓道部がふえるようになってきた。

以上の一般と学校界の両弓道会のその後の普及と活発化が実を結んで、今日では全国の弓道フアンの数はいっしょに七十万人を越える状態となっているが、わが兵庫県の登録者数は三百名、学校の各部員を入れると約千名になる。だが一般フアンのか数を加えるとはるかに多い現状である。

戦後の弓道の特色は、なんといってもスポーツ第一本位になってきたことで、戦前と違い、全国的、あるいは地区的な対抗試合が相ついで行なわれるようになった。まず、五大都市対抗試合では過去九年間の試合で優勝が二回、一位が三回、三位が二回という好成績をおさめた。つづいて秋田で開かれた国体の一般男子では沢村康路、工藤優らの名が会場して堂々と優勝したが、選手三名中の二名は神戸市弓道協会のメンバーだった。さらに三十七年の大分市での全国高校体育連盟男子選手権には市立神戸工業の弓道部、三十八年一月十五日に京都の三十三間堂で行なわれた全国大（的の直径五尺二寸、射程

三十間ないし五十間）大会には山本純一氏（現在、神戸市弓道協会副会長）がそれぞれ優勝した。同氏は四十二年五月二日開催の全日本遠的選手権大会でも二位となっている。

県下の試合には県民体育大会（八月）、みなとの祭り体育大会（十月）、神戸市民体育大会（十一月三日）などにおける各試合はじめ神戸市民選手権大会（十一月三日）があり、高校では春・夏・秋の体育大会での各試合、大学では兵庫県選手権大会（六月）と関西選手権大会（七月、これには約八百人の選手が参加する）、県実業団選手権大会（四、十月）などがある。このほか不定期だが、全国的なものに全国国鉄大会や全日本学生選手権大会がある。なお、各試合には県下の中央道場の資格をもつ神戸の王子弓道場がほとんど使われているが、各会社や学校の道場も多い。そのおもなものをあげると――

会社と一般 国鉄鷹取工機部、三菱重工、神戸市役所、税関、生糸検査所、神戸製鋼、三菱電機潮見台、豊鳴館（灘区）、高取山弓道場

大学と高校 甲南大、甲南女子、甲南高校、御影高、六甲学院高、神戸大、神戸外大、神商大、市立神戸工業

などとなっていて、戦前以上の盛況振りである。

前にも述べたように、今日では体育の向上とスポーツが第一目的となっているわけだが、弓道は長生きの秘けつだと信じてやっている人がかなり多い。ここに精神的な考え方も顔をのぞかせている気がするが、つまり弓道が「無念無欲」をとくにモットーとしたスポーツであるところに、とくにそうした考えも生まれてくるわけだろう。日本弓を練習しておれば、洋弓はたやすく当たら、と会員らは語っているが、技術はむしろ大切だが、それ以上に次第に社会生活が複雑化した現代人にとって、精神回復のために弓道は、強力なひとつの「正念道場」の役目を果たすスポーツといえるかもしれない。

（四二・十・二四記）

神戸うまいもん巡礼

No. 61

赤尾 兜子

各国料理の巻

神戸の料理を全国的に特色づけている各国料理——その店がまたふたつ誕生した。二店とも外国人の経営、といっただけでも、ほぼ察しがつこうというものである。いずれも国鉄元町駅から鯉川筋を南へ、市電のカーブの手前を東へ、書店「日東館」の裏にある。一店は「GREEK VILLAGE」(グリーク・ビレッジ)生田区三宮町三丁目である。店名が語るようにここはギリシア料理のレストラン。昼間は富士貿易で仕事をしているI・C・サリスさんの経営にかかる。十年前に来日、日本妻を娶ったこの人、もともと食に興味が深く、その病いがつのって、半年前についてレストランに手を出した。

きれいな階段をあげると二階の店。階段横がガラス戸のなかに、ギリシヤの民族人形の数々がなら



西洋風にしつらえてあるダナ・ガーデンの店内

この店自慢のツールパイ(手前)とアイスバイン(右上)は珍品。

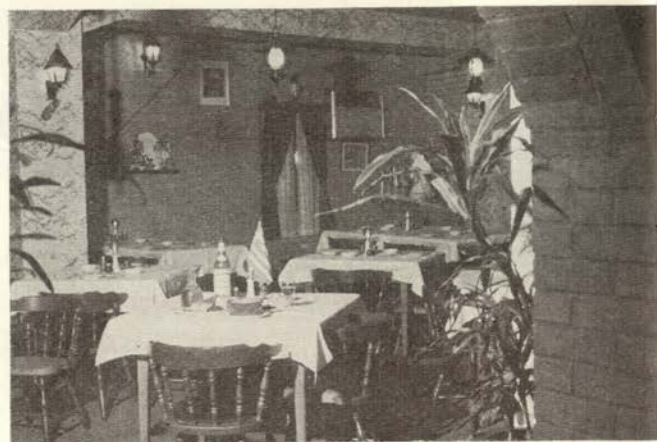


べてあって、はや異国の情趣がただよ。

店内は照明をかなり落として、おちついたフンイキ。卓にすわるとわれら日本人には日本の国旗を立ててくれる。あちらの卓はフランス、こちらの卓はイギリス……と各国の旗がテーブルに咲きみだれることもあって、国際港都らしいフンイキだ。なじみ客の母国はわかるが、はじめての外人客はどうもわかりにくい。サリスさん、そこで知恵をしぼってこちらからうまくいさつをもちかけ、そのなかで出身国名を聞きこんでおいて、国をまちがえないように旗を立てるのである。十卓五十人ばかりの店。いま外人客六割日本人客は四割。かなりいろんなメニューがあるが、日本人向きにはムサカ(四五〇円)がまずよからう。肉のミンチと茄子(なす)を入れた濃厚

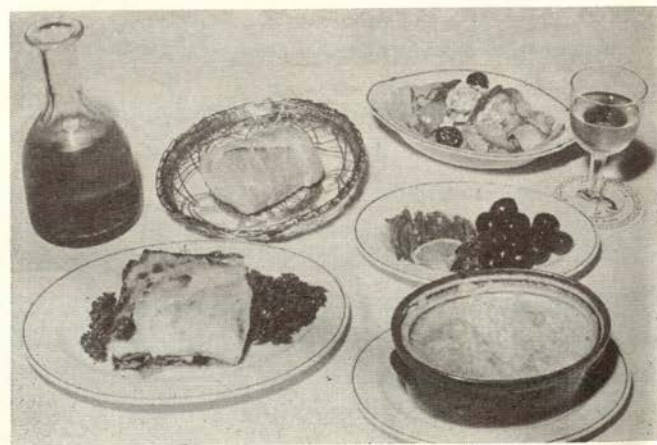
い卵焼
きとい
え、
説明が
てつと
りばや
い。も
つとも
そのな
かには
トマト
玉葱、
羊のチ
ーズな
どうも
まくミ

ツクス
されて
いて、
それだ
けに単
一な味
でない
かな
かコク
がある
ユベチ
(四五
〇円)
という
煮込み
も乙な
ものである。



テーブルに各国の国旗がならぶグreek・ビレッジ。

手前左は日本人向けのムスカ。手前右はユベチ。



それ
だけ
に、こ
の店の
料理、
総じて
香辛料
など、
随分気
を使っ
た本式
である
じまん
のツィ
ルバイ
(七〇

ものである。これは、陶器の壺のようなものに入れて出るが、玉葱、トマトとバターで焼いた牛肉を煮ておいて、そこへオルゾーというマカロニの粒を加え、オーブンに入れて仕上げたもの。ここのチーズは羊のギリシャチーズ(二〇〇円)で、風味が濃厚。左党は、食前酒として「OUZO」というギリシャのアブサンを飲み、塩いわしとオリブの実の前菜(一五〇円)をあわせるといいだろう。前記の陶器の壺は、近くギリシャのホンモノが着くはず。東京にも店を出す気構え、いずれにしても全国で初のギリシャ料理店である。

もう一店は「ダナ・ガーデン・」(三宮町三ノ二、兵神三宮ビル地下)である。貿易もやっているスイス人のクノフリーさんの経営、夫人は日本人。

食に目がきくクノフリーさんが大阪のアラスカやKRCでコックをしていた若い金子拓蔵君を抜きて、みっちり外国料理を仕込み、いまま西欧風の味を出すよう注意しているらしい。つまり、日本式の西洋料理でなく、西欧風そのままを志しているということだ。

〇円)はスイス風で、舌ひらめに、ぼろ葱、玉葱、シヤンピニオンをきかせ、生クリームで包んだ豪華品、ぼったりしたところへ、濃、淡両様の味がただよってよるしい。ドイツ料理のアイスパイン(八〇〇円)は珍品。皮つきの豚肉を三日ほど塩水に漬けて、数種類のスパイス、野菜、レモンなどを加えて二時間ほど煮てある。それに酒のジンをとるジュニバビリーの実とカラウエーシードをそえて食べるのだが、この香辛がうま味調和、およそ豚の臭味と脂っこさは逃げていて濃い雅味がある。むろんビフカツ(五〇〇円)ビフシチューとサラダ(七〇〇円)などもあり、西欧五カ国の料理を手がけている。

ここもやや薄暗い照明、竹カゴでつつんだ灯がほつほつとあって、五卓、二十人くらい、奥にカウンタ―があり、カベに客のユーモアあふれる落書きもある。外人客が多いが、日本人も歓迎している。ホステスも外人扱いになれている。午前二時まで。深夜アベックにとって顔をささない店でもある。

然に自分の分担をうまく守っているだろう」

女の入りこむ余地はないよといわれてみると、慰安婦
か何かでもしなくてはわるいような気もしてくる。

しかし、女の私にとって、この男ばかりの船の生活は、
ひどく懐しいふるさとの生活の匂いをするのはなぜだろ
う。

団地の女くさい台所
よりも、はるかに人間
らしい匂いにするの
は、珍しいからだけだ
ろうか。

男たちは、海の彼方
をみつめながら、果て
しなく夢を追う。

そして陸地で女は待
っている。

男の大きなロマンに
比べて、女というのは
待つことだけがロマン
なのだろうか。

×

×

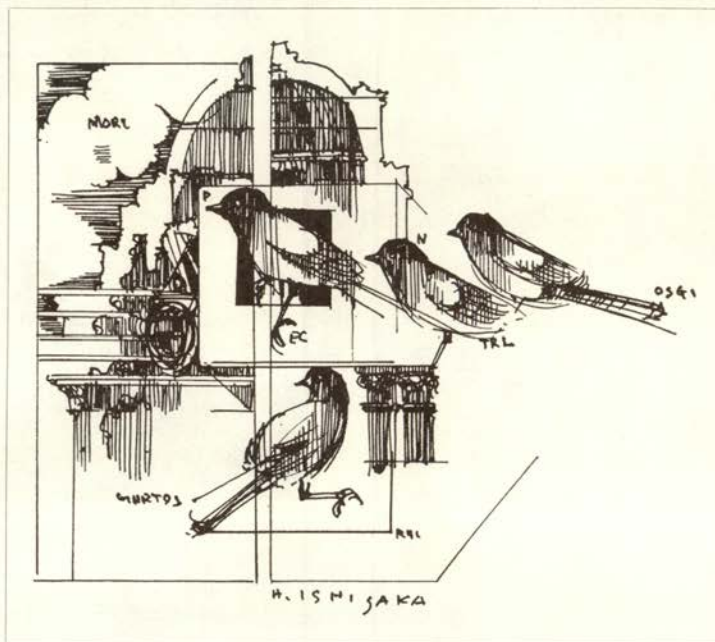
淑女入門の原稿にな
ぜ船のことを書いたか
といえば、ある要約さ
れた男の世界に何とか

淑女の入りこむ余地をみつけたからである。

この優雅な、無口な男たちの世男に入りこんで、もし
波乱を起すようでは淑女ではない。

すべては男がうまいんだよ。女の入りこむ余地はない
よ。——とはいいいながら、海の男たちは海にも波にも
船にも女の名前をつけ、愛し、憶がれる。

もし下手に女が乗りこんであばれば、海や波や船の



女神たちのゼラシーの炎で、たちまち海底のもくずと消
されてしまふだろう。

そのことを彼らは知っている。

そして彼らは、海の泡の中にアフロディテを、アドニ
スをみつけた。

それは女に対する献身を物語る。

×

×

「女によせる男の献
身」——これこそ女が
淑女になり得るたつた
一つの条件なのだ。

このことをボーボワ
ール女史は、彼女の言
葉で「——女はつくら
れた。第二の性——」
といっている。

日本では、男の子に
鯉のぼり、女の子にひ
な祭りのシキタリがあ
るが、いずれもつくら
れる性の証しなのだ
ろう。

淑女だけでなく、紳
士だってつくられた第
二の性であることはい
わいでものことだろ
う。

△おわり▽

★新名所 名古屋名物「一路」

味噌煮込みを是非お試し下さい



味噌煮込み
食するたびに
想い出す
遠き昔の
故郷の夢



きしめんの店

一 路

神戸市生田区加納町4丁目 TEL ②0765

setsu

ご家庭の雰囲気で
楽しめる
あなたのスタンド



スタンド

勢津



生田東門筋

ゼウス街

TEL <39>0516



UNE DANDY CORNER

クネ ダンディコーナー
〈紳士服飾〉

★神戸店=元町通1丁目64

TEL (078) 33-2677

★東京店=東急百貨店日本橋店1階

TEL (03) 211-0511 内線813

東急百貨店本店6階(渋谷)

TEL (03) 462-3435 (大代表)

男の話題

★TEA・ROOM



ウェイトレス嬢にツンケンされて不愉快な思いを経験した諸氏も多いと思うが、ウェイトレスがきもの姿で礼儀正しい接待をしてくれる喫茶店がこのほど神戸にはじめて登場、はやくも男性諸氏の間で評判になっている。国鉄三宮駅山側、但馬銀行の地下にある喫茶室「たじま」がそれである。店内の入口には五重塔があり、生花、植木にいたるまですべてが純和風にしつらえてある。さる9月19日開店だがものめずらしさもあって盛況で昼間や土、日、祝日には女性客も多いという。

アルコールも飲めるし、カウンターもある。ウェイトレスは総員15名、月収5万円?と聞いている一見の要ありとみたが、どうですか男性諸氏、「たじま」は10.00~24.00営業、TEL ☎ 7520

★SHOPPING



ツイードのオーバーが木枯しの季節に男らしさを見せるとき。オリジナル英国製ツイードオーバー(写真下)は¥43,000。またスリーシーズンコート¥8,500から元町クネでは豊富にとりそろえています。

茶色が冬の神戸の街に似合うとき。オーバーコートのスカーフはリバーシブルのペロスカーフ¥5,500。ボロセーターは茶色のスエード付¥9,500。(写真上左)。前開きのボロセーターはアイボリーとからし色、黒のストライプが大胆なタッチで男らしさをイメージづけます¥5,500(写真上右)。ウネは元町の紳士用品のトップショップ。

今が一番冬の商品が豊富にそろっているときです。冬のおしゃれウェアで個性的な装いをお選びください。



ダンディ訪問 ★石田健城氏

ベレット1600GTの運転で神戸・東京のドライブをともにした石田健城氏(25才)はT.P.O.を心得たダンディ紳士。

ぼくはアメリカンファッションはあわないですよ。ヨーロッパファッションの地味なスタイルが好きですね。服装ということはおしやれ以前の問題として「みだしなみ」だから、人が見て不愉快な感じをあたえない、「あいつはキッチリしているな」と感じてもらえれば良いと思うんですよ。それにぼくはまだ若いから、背のびたおしやれはしなくてもいいわけで、ぼくの年齢にあった自分のワードローブのなかで、高級なものではなくても若ものらしく心がけるんです。

ぼくの好みは、スーツはシルエットと色で着るものだと思うので、全体の感じを大切にしています。色は黒。それに家にいるときはリラックスなもの、昼はビジネス向きの活動的なもの、夜は遊びの場でフォーマルなものと一日に三回は生活にケジメをつけるために着替えますネ。精神的にも

違うし、毎日同じ服は着ません。それに何か工夫して替えると新しい気持ちで毎日がフレッシュですよ」と若いがいかに洗練おしやれ談義を語ってくれる石田さんは黒のダークスーツに白いダブルカフスのワイシャツ。シルバードレーのネクタイに、とものハンカチがたっぷり胸ポケットからのぞかせる紳士な装いでたちだった。(YA NAGASE にて)

